

1 教育目標

心身ともに健康で、強く、正しく、心の美しい子どもを育てる
(強く、正しく、美しく)

目指す児童像 = 赤見っ子の目標

強 く・・・じょうぶなからだと心でがんばる子ども
正しく・・・進んで勉強し、正直な子ども
美しく・・・友を大切にし、自らよいことをする子ども

目指す教師像

強 く・・・心身が健康で、前進する明るい教師
正しく・・・自ら研修し、想像力のある優しい教師
美しく・・・互いに協調し、一人一人の児童を大切にする温かい教師

目指す学校像

強 く・・・目標へ努力する活気あふれる学校
正しく・・・礼儀正しく、優しさあふれる学校
美しく・・・一人一人が大切にされ、歌声あふれる学校

2 学校経営の方針

全教育活動を通して一人一人に学校教育目標及び「目指す児童像」の浸透を図り、創造的で心豊かな児童を育てる赤見の教育を推進する。

- (1) 教育法規や県教育委員会・市教育委員会の教育行政方針等及び児童や地域の実態、学習指導要領等を踏まえた教育課程の編成・実施に努め、調和のとれた学校経営を目指す。
- (2) いじめや不登校、健康増進、安全確保等の今日的課題を踏まえ、一人一人の児童理解や好ましい人間関係づくりを推進し、集団としての向上と自己実現を図り、知・徳・体の調和のとれた児童の育成に努める。
- (3) 積極的な研修により、教育専門職としての資質の向上を図るとともに、教育者としての使命を自覚し、全職員が個性や専門性を生かしながら一致協力して教育実践に努める。
- (4) 教育環境の整備・充実を計画的に推進するとともに、非常事態に対応できる体制づくりに一層努める。
- (5) 家庭・地域社会、関係諸機関との連携を密にして信頼関係を深めるとともに、特色ある学校づくりを推進し、開かれた学校づくりに一層努める。

3 本年度の努力点と具体策

○は重点項目

(1) 教職員の資質向上

- ・教育者としての使命を自覚し、自ら積極的に研修に努める。
- ・現職教育、各種研修会に積極的に参画し、教育専門職としての資質の向上に努める。

(2) 健康・体力の増進と安全教育の充実

○体力の向上に努める

赤見っ子ランニングタイム、赤見っ子なわとび、サーキットトレーニング（全学年）、ラグビー（高学年体育科）

- ・各種検査と治療勧告の円滑化、栄養教諭の食育指導、立腰での側湾症の予防、学校保健委員会、保健室経営方針の〇具体化、各種健康カード等可視化の工夫をして健康保持増進に努める。
- ・警察や行政との連携により交通安全指導、性に関する指導、薬物乱用防止教育の実践に努める。
- ・自分の命は自分で守る意識を育む多様な避難訓練の実施（授業中以外、予告なし）

(3) 学習指導の充実

- ・誤答を生かし、まちがうことを臆さない話し合いの雰囲気づくり。

○児童を中心とし主体的、対話的で深い学びに向けた学習活動と課題設定、主発問の工夫、3人グループによる学び合いと話し合いの充実。伝達から熟議への転換。

○算数科での習熟度別少人数指導、ティーム・ティーチングによる指導の充実

- ・環境や実態に即した総合的な学習、学級活動、道徳の年計の評価と改善に努める。

○学校図書館の積極的な利用と読書指導の充実に努める。

- ・学力差に応じるための宿題忘れゼロをめざした「にこにこ塾」の継続とパワーUPシートを活用した「わくわく塾」の工夫改善。
- ・多様で柔軟な自主学習の周知と啓発により家庭学習の充実を図る。

(4) 道徳教育の充実

- ・特別な教科道徳の理解に努め評価のあり方を研究する。

○対話や討論などの言語活動を重視した指導と道徳的習慣や道徳的行動を促す指導の実践

- ・一人一人のよさを伸ばし、道徳性に係わる成長が分かる評価の工夫
- ・小さな親切運動の実践

(5) 人権教育の推進

- ・人権尊重を基盤とした人権感覚を磨き、実践的な人権意識の高揚を図る。
- ・高齢者、女性、障害者等身近な人権問題への保護者への啓発活動に努める。
- ・同和問題の直接的内容に関する研修の機会を確保し、教職員の認識を深める。

(6) 児童指導の充実

○問題の未然防止と早期発見に努め、児童指導の充実・強化を図る。

- ・「学校いじめ防止基本方針」の職員の共通理解と保護者啓発を図る。
- ・「なやみチェックシート」の活用によるいじめの早期発見・対応に努める。
- ・児童会による、いじめ、いじりをしない啓発活動の推進
- ・携帯やスマートフォンの扱いに関する保護者との連携による制限の推進
- ・「赤見っ子の一日」を活用した児童指導の推進

(7) 特別支援教育の充実

○特別支援教育に対する理解を深め、全校体制での支援に努める。

- ・「効果的な指導に結びつく項目」（MIM）を生かした授業の展開。
- ・交流学級と特別活動、共遊での関わりを生かしたインクルーシブ感覚の醸成
- ・全ての学級での個別の指導計画の作成とこれに基づいた校内指導委員会の定期開催
- ・個別の教育支援計画の作成とこれらに基づいた指導の充実
- ・保護者との情報共有と学校カウンセラーとの連携強化

(8) 特別活動の充実

- ・学級課題の解決をめざした話し合い活動の充実を図る。
- 児童会活動で、児童が積極的に参加するための時間の確保と自発的、自治的な活動が継続するための指導、援助
- ・クラブ活動で、自発的、自治的な活動を促す活動の場と時間の設定
- 学校行事に児童の自主的、実践的な活動の場を設定する。

(9) 総合的な学習の時間の充実

- ・児童や地域の実態に合った指導計画の改善充実
- ・児童の興味・関心等に基づく学習など、創意工夫を生かした教育活動の展開を図る。
- ・地域と密着した教材の開発・活用に努める。
- ・学習の様子が分かる研究物の作成と情報発信の工夫
- ・プロから学ぶ機会を作る。(ゲストティーチャーの招聘)

(10) キャリア教育の充実

- ・学活や道徳と関連させた時と場に応じた礼儀やあいさつ、所作の理解促進と励行促進
- ・職業および生活との関連を重視し、学ぶことの大切さや勤労を重んじる態度を育てる。
- ・望ましい勤労観・職業観を育むキャリア教育全体指導計画と年間指導計画に基づく指導の充実

(11) 国際教育の充実

- ・伝統や文化を尊重し、我が国と郷土を愛する心情の育成
- ・国際感覚の醸成と外国の文化に対する理解を深め、尊重する態度を育てる。
- ・必要感のあるコミュニケーション活動を重視した外国語教育を推進する。
- ・研修とALTやボランティアと連携を図りT1の外国語活動、英語活動に自信を深める。

(12) 情報教育の充実

- ・社会や児童の実態を生かした、情報教育指導計画の改善と実践
- ICT(児童一人一台のコンピュータ、電子黒板など)を児童が主体的に活用できる多様な学習活動への取組の推進
- ・情報モラルに関する授業の実践
- ・情報教育アドバイザーの授業への参画促進

(13) 環境教育の充実

- ・緑化活動、学習(理科・生活科)に役立つ環境づくり、施設設備の改善・充実等、教育環境の整備・充実を計画的に推進する。
- ・きれいな学校づくり(整頓されて汚れない室内、季節感のある掲示物、懸命さの伝わる児童の作品、花が咲いている花壇)に努める。

(14) 小中一貫教育の推進

- ・小小連携に関する行事等の充実、工夫改善
- ・小中連携に向けた、合同行事の充実、生活や学習のきまりの統一の推進
- ・ノーメディアディの定着、充実、指導の改善
- ・家庭学習強調週間の取組の充実、工夫改善

(15) 学級経営の充実

- ・お互いさまやおかげさまの心と自己肯定感を育む係活動や自主活動の推進。
- ・児童理解に努め、一人一人の良さを伸ばす指導の工夫・充実に努める。
- ・目標をもち、その実現に向けて根気強く努める、たくましい児童を育てる。
- ・学習のきまりを明確にするとともに、学びに向かう集団づくりに努める。
- ・客観的評価(QUテスト)と日常的観察、共遊による児童理解と発達課題をベースにした継続指導を図る。

(16) 家庭・地域社会等との連携

- ・各種便りやホームページ等の活用により、家庭・地域社会と連携を深め、児童の健全育成に努める。
- ・地域連携教員を中心に専門性や地域性を生かした教育ボランティアの交流と拡充を図る。
- ・あかみ幼稚園、赤見中学校との連携(幼小プロジェクトの継続)
- ・ふれあい学習ネットワークを赤見中学校区地域連絡協議会と兼ねる。

4 特色ある学校の創造

(1) 豊かな心を育む

○なかよし班（異年齢集団）活動の実践

○地域に広げる「あいさつ運動」「ノーメディアデイ」

・家庭や地域に開かれた学校行事の工夫（学習発表会等）

・地域高齢者との交流活動の充実（大先輩と遊ぼうフェスティバル）

・高齢者福祉施設への訪問活動・保育園・幼稚園との交流活動「おもちゃランド」

・「お話隊」による読み聞かせ（毎週火曜日）

(2) 自主・自立を育む

・総合的な学習の時間の改善充実

○学力向上のための改革と挑戦に取り組む。（授業研究）

○体力向上のための改革と挑戦に取り組む。（業間活動の充実・体育指導の充実）

(3) ふるさと愛を育む

・野州小桜会と連携し、運動会とコミュニティー祭りを中心に地域の伝統芸能「八木節」の継承を図る。

5 学校研究課題

「学びの質を高め、学力向上につなぐ授業づくりを目指して」

～一人一人が「伝え合い、考える」子供の育成～